

2017年2月21日

「除草剤フルミオキサジンの開発」で第63回「大河内記念生産特賞」を受賞

住友化学は、第63回（平成28年度）大河内賞[※]において、「除草剤フルミオキサジンの開発」で、「大河内記念生産特賞」を受賞いたしました。

フルミオキサジンは、住友化学が独自に見いだした構造を改良、最適化して発明された、大豆等の栽培に使用される除草剤です。本業績はその発見から生産法の開発までを含むもので、審査においては、独自性、社会的影響力、経済効果、将来性について優れた業績であると高く評価されました。

フルミオキサジンは、その優れた除草活性に加えて、植物界に広く存在するクロロフィルの生合成に関わるタンパク質を標的とすることや、阻害が拮抗型であることから低感受性の雑草が発生しにくいという性質を有しています。また、土壌への低移行性や短い半減期から、土壌蓄積や後作作物への影響をより小さく抑えることを可能にするものです。現在、住友化学大分工場で、高い収率と安全性の両方を満たす合成法で生産されるフルミオキサジンは、日本の農薬で最大規模の輸出額を誇ります。フルミオキサジンは、米国、ブラジル、アルゼンチンなど大豆生産国を中心に使用実績を伸ばしており、その使用は今後も継続的に増大するものと見込まれています。

住友化学は、高い成長が見込まれるライフサイエンスを重点分野の一つと位置付け、事業の拡大を進めています。農業分野においては、社会のニーズに応じたソリューションの開発を一層推進し、世界の人口増加に対応した食糧増産の要請に応えるべく貢献してまいります。

※ 公益財団法人大河内記念会が、生産工学、生産技術、生産システムの研究ならびに実施等に関するわが国の業績で、学術の進歩と産業の発展に大きく貢献した顕著な業績に対して表彰する賞。そのうち、「大河内記念生産特賞」は特に顕著な業績をあげた事業体を対象とする賞。

<ご参考：WEB サイト>

公益財団法人大河内記念会 <http://www.okochi.or.jp>

以上

